

中部緊急防災隊

防災隊式典・班長会議

一般社団法人日本建設業協会中部支部(川端清太支部長)の会員を中心に中部5県(愛知、岐阜、三重、静岡、長野県)で道路事業に携わる有志で結成する「中部緊急防災隊」(川端本部長)が7月23日名古屋市名東区のサンプラザシーズズで「中部緊急防災式典」を開催した。式典には中部5県から150人が参加、午前中には各地区の代表者と事務局が班長会議を開催し、各班の要望に対し意見の取りまとめと対応を協議した。

式典では、開催の辞、隊旗入場に続いて、川端本部長が「いかなる災害に対しても今まで培った経験を生かし、緊急連絡体制を強化するとともに資材の点検と、確保を継続し、迅速な対応を図ってほしい」と呼びかけた。

来賓挨拶では、中部地方整備局の水谷和彦道路部道路情報管理官が「中部版くしの備作戦では3日以内に人命救助のためのルート確保、7日以内に地域住民の生活維持のためのルート確保を目標としている。そのためには豊富な経験と機動力を持つ中部緊急防災隊の協力は不可欠だ。来るべき巨大災害に備え、引き続き協力をお願いしたい」と要請した。

これを受け、日本道路建設業協会本部の長谷川仁環境・安全委員長が「期待される防災隊を目指し、組織の充実を図っていきたい」と決意を述べた。最後に中部緊急防災隊民部順一隊長が綱領を朗読した。

